

村上市地域安全克雪方針策定ワークショップニュース No.3

第3回『これまでの検討内容をふりかえり、将来の姿を検討する』

■作成

村上市 企画戦略課企画政策室（担当：山田）

TEL：0254-53-2111（内線3810・3811）

FAX：0254-53-3840



ワークショップの概要

目的

除排雪に関する地域課題の共有や、将来のあるべき姿について議論や検討を行い、その内容を各地域での取組や課題解決に役立てるとともに、意見を地域安全克雪方針に反映する。

第3回開催概要

日時	令和5年1月22日（日） 13:30~15:00
場所	村上市教育情報センター 会議室A・B
参加人数	19人（意見交換は3グループに分かれて実施）
内容	説明 ①前回のふりかえり ②地域安全克雪方針（素案）について ③ワークショップの進め方
	意見交換 ①地域安全克雪方針（素案）について ②将来の姿（キャッチフレーズ）

スケジュール

回	開催日	検討内容
第1回	10月26日（水）	・除排雪に関する地区の課題を抽出し、将来の目標を設定する
第2回	11月29日（火）	・目標の達成にむけて必要な地区のルールや取組を検討する
第3回	1月22日（日）	・降雪期を迎えてこれまでの検討内容を振り返る

地域安全克雪方針に関する予定

- 令和4年度 ワークショップで素案に対する意見交換
- 令和4~5年度 実証事業（除雪機の貸出等）、アンケート等の実施
- 令和6年2月頃 パブリックコメント（市民意見公募）

意見交換のまとめ

これまでの検討や12月の降雪を踏まえた主な意見

《課題》

- 安全対策に関すること
 - ・近隣住民やボランティアと協力して除排雪作業を行うことで、事故防止につながる
 - ・事故が起きた場合に備えて保険や補償に入っておくことも必要 等
- 人手の確保・体制に関すること
 - ・周辺地域との協力やデジタルの活用で人手不足を解消することも考えられる
 - ・人手不足解消のために、謝礼金としても使えるような支援制度があるとよい
 - ・高齢者しかおらず、取組をしたくともできない地区があることを考慮すべき 等
- その他
 - ・財政が厳しいから地域との協働で除排雪を行うというのは、行政の仕事を丸投げしているようにも感じるので、災害の未然防止等の取組は行政でしっかり行うべき
 - ・民地の除排雪について「行政に頼らない」という考え方があってもよい 等

《ルール・取組》

- 地域等
 - ・村上市のルールを基本として、各地区・集落がルールを作っていければよい 等
- 事業者
 - ・「事業者同士の連携」を追加してはどうか。互いに応援し合う形があってもよい 等
- 行政
 - ・倒木の防止など日常的な点検や停電などの非常時への備えをしてほしい 等

《今年度の大雪に関すること・感想など》

- ・除雪機の常備は心強かった、意欲がわいた
- ・大雪だと自宅の除雪で手一杯で高齢者宅まで周りきれない 等

「将来の姿」のキーワード

- 安全・安心
- 助け合い
- 協力
- 声かけ
- 思いやり
- お互い様
- 地区のため
- 地域を少しでもよくしよう
- 住み続けられる地域
- 元気に暮らせる
- 笑顔で暮らせる
- 行政に頼らない
- 無理なく
- 仲良く
- 常日頃からの付き合い 等



ワークショップにご参加いただきありがとうございました。今後も地域の除排雪活動へのご協力よろしくお願いいたします。



《説明と各グループの議論の様子》



全体への説明



Aグループ



Bグループ



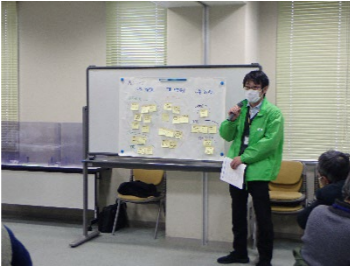

Cグループ

■各グループの意見

①地域安全克雪方針（素案）について

Aグループ			Bグループ			Cグループ			
項目	分類	取組内容	分類	取組内容	項目	分類	取組内容		
課題 (3章) について	安全確保	<ul style="list-style-type: none"> 単独作業が事故につながるため、2人以上で実施することが必要。 除雪機の利用者を消防団・区役員などに限定し、事故防止に努めている。 向こう三軒両隣で、班をつくり、ボランティアと協力して行うことで、事故防止につながる。 屋根の雪おろしを行う人手がないため、それが事故につながるため、安全確保のためにも人手の問題は重要。 屋根の雪が落ちてくると危険。通行に気を付けることが必要。 スコップ等で周辺に危険箇所がないか安全確認が必要。 事故が起こった場合に備えて、保険などに入っておくことも必要。 	雪捨て場	<ul style="list-style-type: none"> 市街地で雪が積もると、排雪する場がなく道路に出さざるを得なくなる。 雪の捨て場がない。 	課題 (3章) について	除排雪の体制	<ul style="list-style-type: none"> 「消極的な地区・集落等～」とあるが、消極的というよりも高齢者しかいなくて、やりたくても“できない”のが現状。 「対象や内容の見直し等により～」とあるが、「モデル地区を増やす」など具体的に記述すると良い。また、「モデル地区での成功事例を共有する」ことも大切なので、その趣旨の記述もあると良い。 		
	人手不足	<ul style="list-style-type: none"> 人手確保のために周辺の地域と協力しながら、人手不足を補っていくことも考えられる。 デジタルを活用して、人手不足を補っていくことも考えられる。 	他者支援	<ul style="list-style-type: none"> 平日の朝に大雪が降ると勤労者の除雪役員は何も出来ない。 自宅及び職場を除雪すると時間がかかる。 雪の降る量が多すぎると自分の家でいっぱい、高齢者宅までまわりきれない。 若い人の力は、休日ならする人もいるかもだが…。 			民地の除排雪	<ul style="list-style-type: none"> 「行政に頼らない」という趣旨の記述があると良い。 	
	行政	<ul style="list-style-type: none"> 財政運営が厳しいから地域との協働で除排雪を行うというのは、行政の仕事を丸投げしているように感じる。災害の未然防止につながる取り組みは、行政でしっかりと行う必要がある。 行政がやることと市民の協働でやることは別であり、しっかりと整理してほしい。 	除雪機	<ul style="list-style-type: none"> 除雪機の常備は心強かった。 除雪機の貸し出しは、意欲がわいた。 通学路及び歩道の除雪作業を実施した。 大型除雪車が入れない道路の除雪作業は個人のトラクターを使用。 	ルール (6章) について	ルール	<ul style="list-style-type: none"> 内容については基本的に違和感なし。 除排雪に限らず、こうした考え方は今も既にあるので、受け入れられやすい。 ゴミステーション周辺等の除雪については、スコップを置くことで進められる。そうしたちょっとした工夫が必要。 大雪だと人手だけでは対応できない。機械除雪は操作できる人とできない人がいる。 市のルールを基本にして、各集落や地区が独自にルールをつくってほしい。 		
取組 (6章) について	事業者	<ul style="list-style-type: none"> 一般企業の協力も重要であり、出社時間をずらすなどの取組も入れられないか。 	業者への配慮	<ul style="list-style-type: none"> 除雪中、わがままな苦情が多い。 個人から業者に除雪依頼があるが、対応できない。 →近隣の同士での対応をお願いしたいが、隣人も高齢者で共助できない →個人にも除雪機の貸し出しがあれば… 			取組 (6章) について	体制・組織づくり	<ul style="list-style-type: none"> 「学生ボランティア団体等」とあるが、集落や地区によってはそうした取組があることすら思いつかないと思うので周知は必要。 新たに、「事業者（除雪業者）同士の連携」を追加してはどうか。里と山とで雪の降り方が違うときもある。互いに応援し合う形があってもいい。
	支援	<ul style="list-style-type: none"> 支援制度をもっと使いやすくし、人手不足の解消に向けて、謝礼金としても使用できればよい。 融雪設備を設置する費用だけでなく、電気代などのランニングコストも支援できるとよい。 除雪機が2台あると作業効率が上がる。 	取組	<ul style="list-style-type: none"> 市内高校に協力依頼し、市営団地を除雪活動している。ここ数年で定着している。 通学路、歩道の凍結がかなりあり、融雪剤を散布した。 独居高齢者で私道が長い等、たすけあい名簿を活用して、細かい対応ができた。 					市民
	行政の役割	<ul style="list-style-type: none"> 倒木防止のための木の伐採や点検を行うこと。 停電で非常に困ったので、通信障害時の対応をあらかじめ考えてもらいたい。 	その他	<ul style="list-style-type: none"> 毎日雪が降ると、精神的につらい。 災害級の大雪の時は、学校・企業の休業等、動かない。（業者も無理しない） 雪の量は減っている。（中途半端に降るので困っている） 積雪量が特に多い地区（山間地の集落）の意見を聞きたい。 					

②「将来の姿」のキーワード

Aグループ	Bグループ	Cグループ
<ul style="list-style-type: none"> 住民の力で安心、安全な除雪対策（克雪） 助け合い安全除雪つながる地域 仲良く除雪 自分が困っていれば他人も同じである 安全安心 笑顔で暮らせる 協力しあえる町（まち）づくり 声かけで助け合う向こう三軒両隣 常日頃からの付き合いが助け合いになる 克雪も同じこと！ 地域を少しでもよくしようの気持ちで対応しよう 頼りになろう 頼りにしよう 地域克雪活動 	<ul style="list-style-type: none"> 住み続けられる地域（冬だけの問題ではないが…） お互いさまの気持ち ちょっとした不便はしょうがない、お互い様で協力しよう 	<ul style="list-style-type: none"> 行政に頼らない地域を目指そう みんなが助け合って元気に暮らせる 声かけ 助けあって 地区のため 助けあい 無理なく 思いやり 安全安心で 安全に 